

西之表市橋梁長寿命化修繕計画



平成 27 年 3 月
(令和 7 年 2 月更新)

西之表市 建設課 土木係

目 次

§ 1 計画策定の基本的な考え方	1
1.1 背景と目的	1
1.2 橋梁を取り巻く現状	1
§ 2 橋梁の管理方法	5
2.1 基本的な考え方	5
2.2 点検の方法	6
§ 3 橋梁長寿命化修繕計画の策定	7
3.1 基本フロー	7
3.2 ライフサイクルコストの算定	8
§ 4 橋梁長寿命化修繕計画の効果	9
§ 5 新技術及び費用の縮減に関する検討	10
5.1 今後の取組	10
§ 6 意見を聴取した学識経験者	11
§ 7 橋梁点検計画・修繕計画	12

§ 1 計画策定の基本的な考え方

1.1 背景と目的

西之表市が管理する市道に架かる道路橋は 90 橋であり、高度経済成長期に建設された多くの橋梁が、今後、急速に高齢化し、架替えや修繕に要する費用が急増することが予想されます。

このため、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、予防的な修繕による橋梁の長寿命化や計画的な架替えに取り組むことにより、長期的な観点からみたライフサイクルコスト(LCC)の縮減を図ることが可能となります。

平成 27 年度以降、平成 26 年度に策定した長寿命化修繕計画に基づき進めてきた定期点検、補修設計、補修工事の結果を基に長期計画(長寿命化修繕計画)の見直しを図り、計画的・継続的な対策を実施することにより地域の交通ネットワークの安全性・信頼性を確保していきます。

1.2 橋梁を取り巻く現状

1.2.1 管理する橋梁の現状

市が管理する橋梁は 90 橋であり橋種別で分類するとコンクリート橋は RC 橋が 66%の 59 橋、PC 橋が 31%の 28 橋、鋼橋は約 2%の 2 橋、石橋は約 1%の 1 橋となっています。

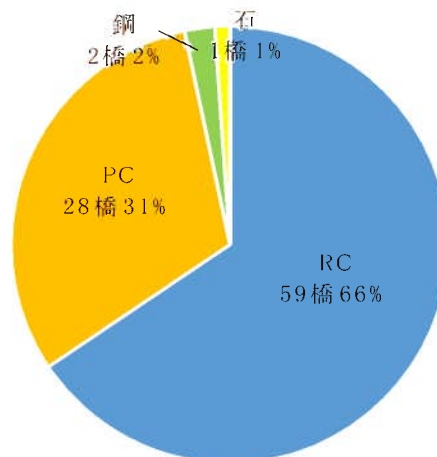


図 1.1 橋種ごとの橋梁数

表 1.1 橋種ごとの橋梁数

全橋梁数	RC	PC	鋼	石
90	59	28	2	1
	66%	31%	2%	1%
	100%			

長寿命化修繕計画(平成 26 年度)を基に変状に対する対策を実施した橋梁数は 25 橋であり全体の 28%です。

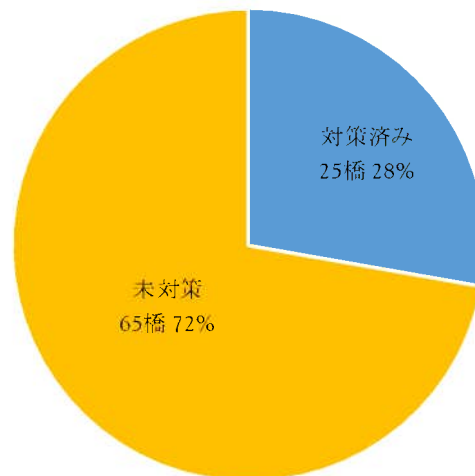


図 1.2 補修対策の実施状況

表 1.2 補修対策の実施状況

全橋梁数	対策済み	未実施
90	25	65
	28%	72%

現段階で対策を実施していない橋梁の損傷度の割合は判定“Ⅳ”が 1 橋(2%)、“Ⅲ” 7 橋(11%)、“Ⅱ” 21 橋(32%)となっており、市が管理する橋梁の 4 割程度が何等かの劣化、変状が確認されています。

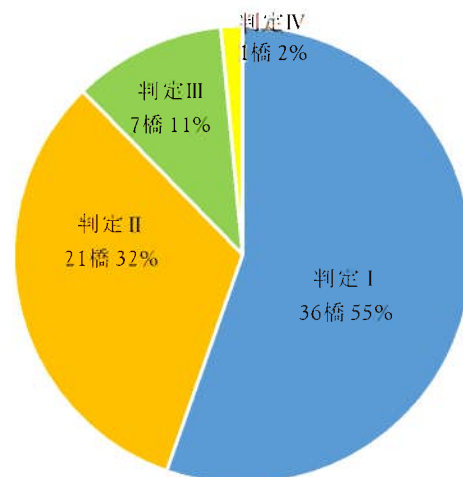


図 1.3 橋梁の判定区分

表 1.3 橋梁の判定区分

全橋梁数	判定区分			
	I	II	III	IV
65	36	21	7	1
	55%	32%	11%	2%

対策済みの橋種の割合は RC が 100%(25 橋)となっています。

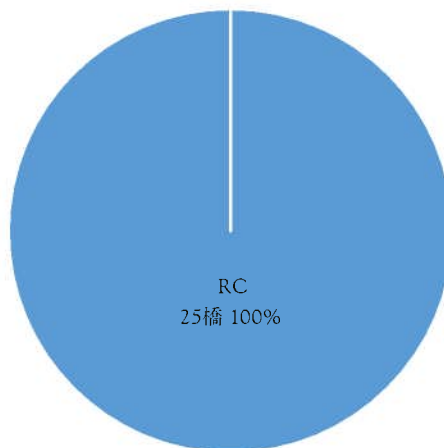


図 1.4 対策済みの橋種の割合

表 1.4 対策済みの橋種の割合

全橋梁数	RC	PC	鋼	石
25	25	0	0	0
	100%	0%	0%	0%
	100%			

建設後 50 年以上となる橋梁の割合を以下に示します。老朽橋の目安は、建設から 50 年と考
えております。20 年後には市が管理する 81%の橋梁が橋齢 50 年以上となります。

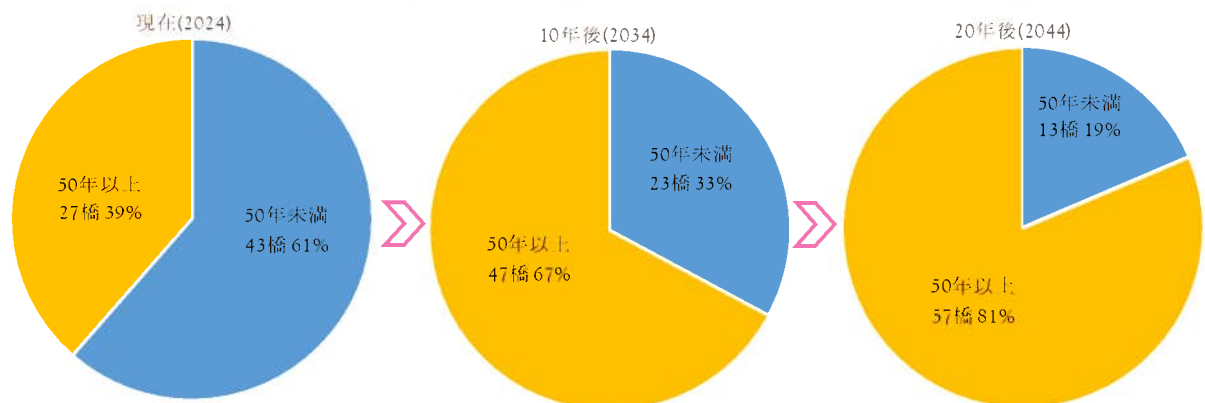


図 1.5 橋齢 50 年以上になる橋梁の推移

表 1.5 橋齢 50 年以上になる橋梁の推移

全橋梁数	現在(2024)	10 年後	20 年後
70	27	47	57
	39%	67%	81%

※これから建設される橋梁は考慮していない。

架設年次が不明の橋梁(20 橋)は除外する。

橋齢の割合を以下に示す。橋齢 20 年未満の橋梁が全体の 13%(9 橋)であり、新規に建設される橋梁は少なくなっております。

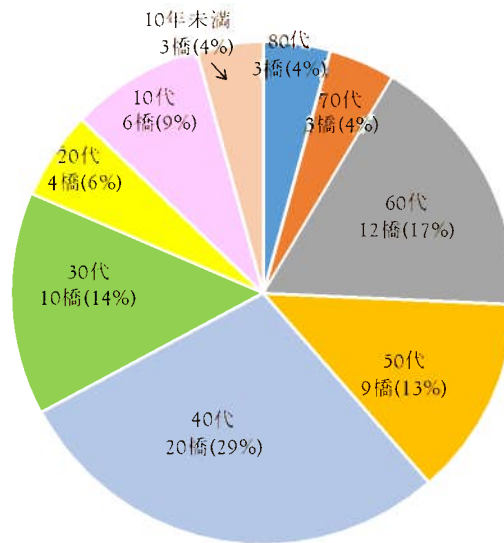


図 1.6 橋齢の割合(10 年毎)

表 1.6 橋齢の割合(10 年毎)

橋 齢	橋 数	割 合
90～99	0	0%
80～89	3	4%
70～79	3	4%
60～69	12	17%
50～59	9	13%
40～49	20	29%
30～39	10	14%
20～29	4	6%
10～19	6	9%
0～9	3	4%
合計	70	100%

※架設年次が不明な橋梁(20 橋)は除外する。

§2 橋梁の管理方法

2.1 基本的な考え方

市の管理する 90 橋すべての橋梁長寿命化対策について『予防保全』を導入していきます。

予防保全の基本的な考え方として、橋梁の管理方法についての維持管理体系を確立するために、点検強化を全面に打ち出し、日常点検、定期点検、異常時点検にてこまめに対応します。

すなわち『こまめな点検・補修による予防保全』としています。

維持管理の取組みについて、以下の 3 つを実施します。

- ① 90 橋すべての橋についてグループを 2 つに区分し、効率的・効果的な維持管理を行い予防保全に努めます。
⇒A グループ：石橋以外、B グループ：石橋
- ② 橋梁の損傷程度が大きいものから優先した補修対策を実施します。
⇒大きい損傷があるものから対策を実施
- ③ 効果的な補修を実施するために優先順位を明確にします。
⇒劣化進行過程の遷移を確率的にとらえること(マルコフ連鎖解析)により、優先順位を明確にしました。

今後、橋梁の老朽化に伴う重大事故が増大する危険性を回避し、利用者に安心安全を与える維持管理を実施していくことが重要と考えています。よって、計画的な PDCA サイクルを継続的に実施していきます。

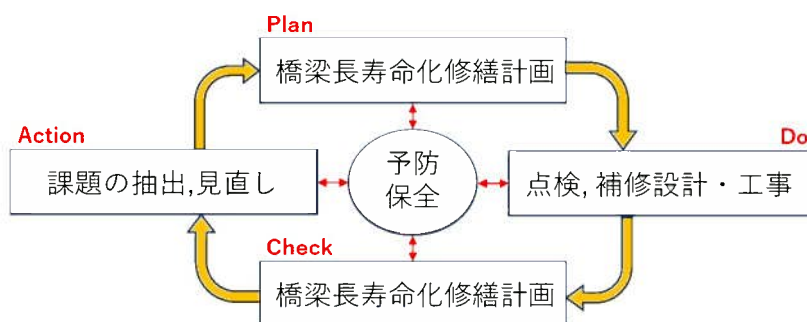


図 2.1 予防保全の流れ

市民の安心安全な生活を支えるため健全な道路ネットワークを維持すると共に予防保全を推進し、長寿命化を図ることによって修繕等に係る費用を縮減します。

2.2 点検の方法

橋梁の点検は、日常点検、定期点検、異常時点検の3つに分けて点検します。道路維持管理の一環として現状を把握し、安全性や耐久性に影響すると考えられる損傷を早期に発見し対策を行うことにより、常に橋梁が良好な状態であることを目指します。

点検手法は、鹿児島県が作成した“橋梁定期点検マニュアル等”に基づいて行います。

- ・日常点検は橋梁の保全を図るために日常的に実施します。
- ・定期点検は橋梁の長寿命化を図るため、詳細点検を実施します。
- ・異常時点検は地震等が発生した場合に橋梁の安全性を確認するために実施します。

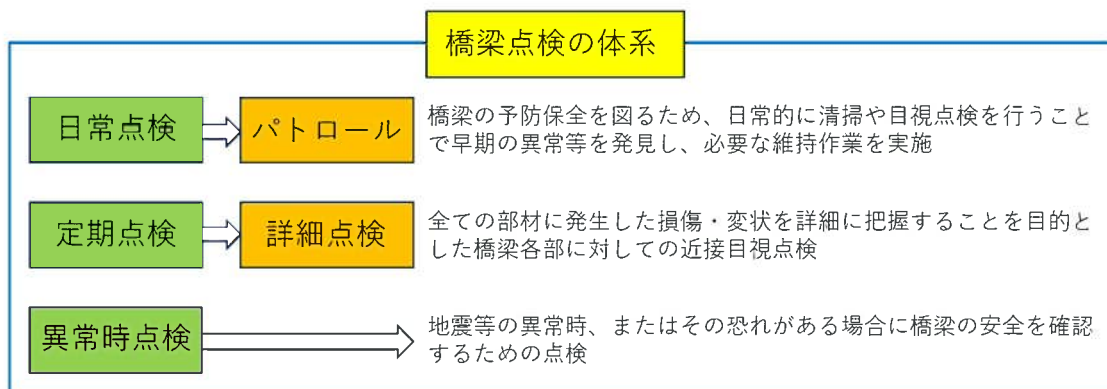


図 2.2 橋梁点検の体系図

日常点検においては、こまめな対策を行います。例えば、土砂詰りなどの清掃を行うことにより、排水を円滑に処理することができます。これにより、伸縮装置などから支承部への水の浸入を防ぐことができ、橋梁の長寿命化に繋がります。

定期点検は詳細点検を5年に1度、専門業者に委託します。また、健全度“I”かつ足場等が不要な橋梁や異常時点検は職員が行います。

§ 3 橋梁長寿命化修繕計画の策定

3.1 基本フロー

限られた予算の中で、橋の安全性を確実に保持するために、従来の損傷・劣化の発現が大きくなってから対応する維持管理から、傷みの小さいうちからこまめな対策を実施する予防保全へと移行することでライフサイクルコスト(LCC)の縮減を図ります。

長寿命化修繕計画については10年毎に事後評価等を踏まえた見直しを行います。

以下に計画策定に関する全体の流れについてPDCAサイクルを用いて示します。

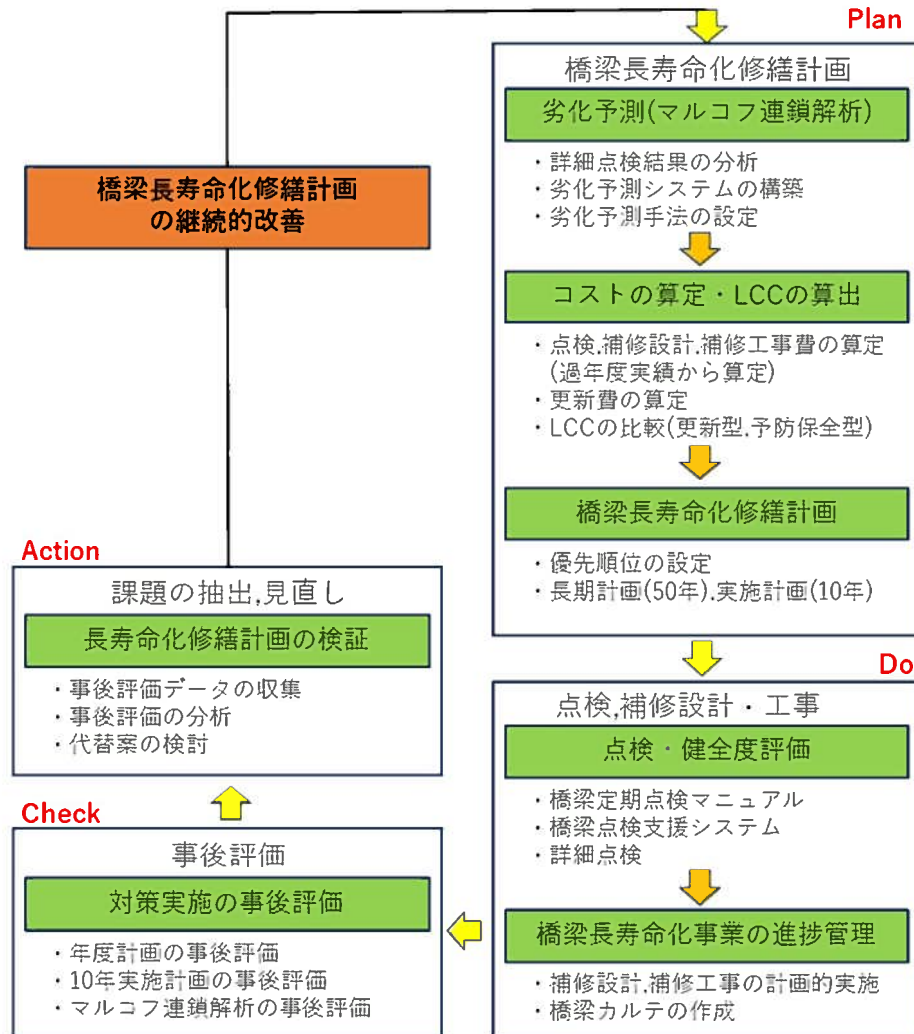


図 3.1 長寿命化修繕計画の流れ

3.2 ライフサイクルコストの算定

3.2.1 ライフサイクルコスト(LCC)算出の前提条件

橋梁ごとのライフサイクルコスト(以下 LCC)算出の条件は今後 100 年間持たせることを前提とします。

3.2.2 維持管理の方針について

下表に示す維持管理の方針を 2 つ設定して、LCC のシミュレーションを行いました。

表 3.1 維持管理の考え方

維持管理の方針	考え方
更新型	損傷の程度に関わらず対策を行わないまま橋梁の寿命と言われる 50 年毎に架け替えを行う。
予防保全型	予防的な維持管理により寿命を 100 年まで延命できるものと過程する。そのうち当面 50 年間で最も経済的な維持管理ができるように予防的な対策を適宜行う。なお、100 年経過した後も特に問題がなければその後も維持管理を継続的に行う。

3.2.3 維持管理の方針について

維持管理を効果的に実施していくために、橋梁毎にカルテを作成し、日常点検・定期点検・補修計画・対策実施の記録を残していきます。

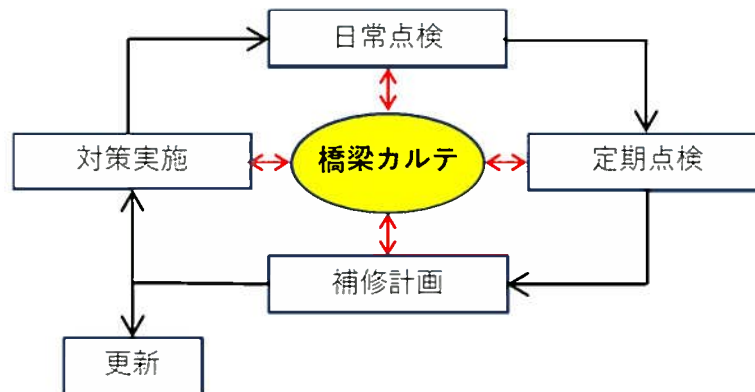


図 3.2 維持管理の流れ

更新については、供用開始から 100 年経過した橋梁を対象とするが、100 年経過した後も特に問題がなければ補修等を施して維持管理を継続して行う。

§ 4 橋梁長寿命化修繕計画の効果

修繕および架替えに要する費用は、予防保全型では、約 20 億 300 万円となり、今後 50 年ですべてを更新した場合の約 33 億 6900 万円と比較して、約 13 億 6600 万円(約 41%)のコスト縮減が見込まれます。

表 4.1 ライフサイクルコスト(LCC)一覧

ライフサイクルコスト (LCC)算定	50年間の総額 (百万円)
更新型	3,369
予防保全型	2,003(約41%の縮減)

更新型と予防保全型、それぞれの 50 年間で必要となるライフサイクルコスト(LCC)の推移を以下に示します。

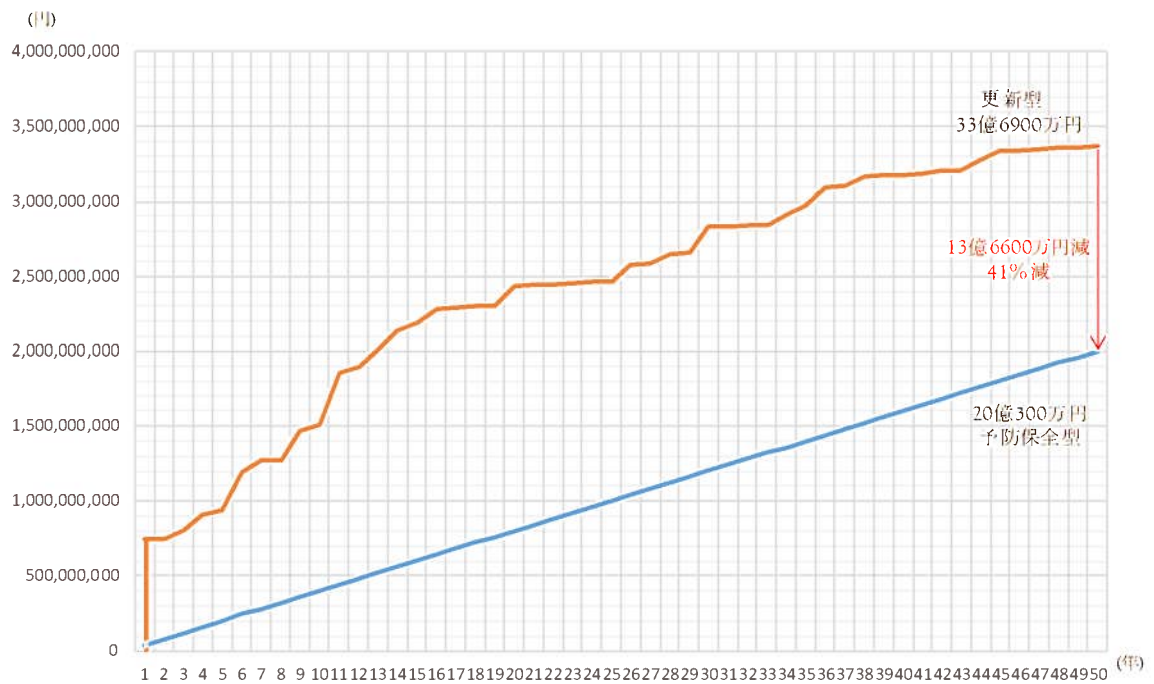


図 4.1 LCC の推移

§ 5 新技術及び費用の縮減に関する検討

5.1 今後の取組

○新技術の導入

令和 10 年度までに、管理する橋梁 90 橋全てについて、修繕や点検等に係る新技術等の活用
の検討を行うとともに、10 橋の橋梁で費用の縮減や事業の効率化等の効果が見込まれる新技術
等を活用し、令和 10 年度までの 5 年間で約 2 百万円のコスト縮減を目指します。

○橋梁の集約化・撤去の検討

令和 10 年度までに、管理する 90 橋のうち 2 橋程度について、施設撤去に伴う回路整備や
機能縮小、集約化などの検討を行うことにより約 1.5 百万程度のコスト縮減を目指します。

維持管理のコスト縮減を図るため、建設から 83 年経過し老朽化が著しい西京橋については、
迂回路があり、周辺住民の了解も得たことから道路メンテナンス事業等を活用して撤去を行
います。

○費用縮減

令和 10 年度までに、管理する 90 橋のうち、橋長が短く構造が単純な 20 橋程度については直
営点検を実施し、2 巡目点検において従来技術を使用した 10 橋に対して新技術を活用した点検
を実施することで、費用を約 6 百万円程度削減すること目標とします。

§ 6 意見を聴取した学識経験者

この計画は学識経験者の専門知識を有する方として

鹿児島大学 工学部 海洋土木工学科 山口教授

鹿児島大学 工学部 海洋土木工学科 審良准教授 に助言を頂きました。

写真－意見聴取の様子



§ 7 橋梁点検計画・修繕計画

市が管理する全ての橋梁について、今後 10 年間の点検計画・修繕計画を下表に示します。

整理 番号	橋梁名	路線	架設 年度	供用 年数	橋長 (m)	総 幅 員 (m)	上部構造		点検記録		点検計画：○ 補修設計計画：■ 対策工事計画：● 撤去・移管：▲																対策費用	
							構造形式	使用 材料	点検実施 年度	判定 区分	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	補修 設計費 (円)	補修 工事費 (円)						
1	久保田橋	奥久保田線	1984	40	4.8	6.3	RC中央床版橋	RC	R1	I					○					○	1,117,400	8,117,760						
2	浦田下之橋	浦田奥線	2015	9	6.4	4.8	溝橋(BOX)	RC	R2	I	○					○					1,135,900	4,568,160						
3	第3太田橋	寺之門大田線	1989	35	11.3	5.5	プレテン床版橋	RC	R3	I		○					○				2,301,400	1,268,880						
4	大田橋	寺之門大田線	1955	69	5.6	4.2	RC中央床版橋	RC	R3	II		○					○		■		869,500	6,316,800						
5	第2桜園橋	柳原野木平線	1986	38	13.4	6.2	桁橋(その他)	RC	R2	I	○					○					3,074,700	1,695,240						
6	第1桜園橋	柳原野木平線	1954	70	5.3	4.3	RC中央床版橋	RC	R3	II		○					■	○	●		843,600	6,128,640						
7	第3桜園橋	川安桜園線	1985	39	13.9	5.2	プレテンT桁橋	RC	R2	II	○					○				■	2,675,100	3,000,000						
8	又延橋	野木平又延伊岡線	1966	58	8.0	4.8	RCT桁橋	RC	H30	I				○					○		1,420,800	16,542,720						
9	豊受橋	下郷境和上之町線	1993	31	10.3	7.2	プレテン中室床版橋	RC	R4	I			○						○		2,745,400	1,513,680						
10	田代川橋	川氏線	1993	31	18.0	7.2	プレテン床版橋	RC	R3	I		○							○		4,795,200	2,643,840						
11	桃園橋	近政上之原線	1957	67	4.2	5.4	RC中央床版橋	RC	R1	II					■	○		●			839,900	6,101,760						
12	平田橋	石堂炉之峯線	2009	15	23.9	7.7	プレテン中室床版橋	RC	R2	I	○						○				6,808,000	3,753,600						
13	樋口橋	本立線	2008	16	22.0	5.2	プレテンT桁橋	RC	R2	I	○										4,232,800	2,333,760						
14	大正寺橋	現和下之町石堂線	1987	37	22.9	8.2	ボステン中室床版橋	RC	R4	I				○					○		6,948,600	3,831,120						
15	湊川橋	現和平園線	1984	40	31.1	8.2	ボステンT桁橋	RC	R4	II				○					○	■	9,435,000	5,202,000						
16	西之川橋	現和平園線	1983	41	7.5	6.2	プレテン床版橋	RC	R3	I		○							○		1,720,500	948,600						
17	大割橋	現和平園線	1984	40	8.0	6.2	桁橋(その他)	RC	R2	I	○						○				1,835,200	1,011,840						
18	麻煮川橋	現和平園線	2003	21	8.0	5.7	RC中央床版橋	RC	R2	I	○						○				1,687,200	12,257,280						
19	第1今年川橋	今年川線	1937	87	2.8	4.7	溝橋(BOX)	RC	R2	I	○						○				488,400	1,964,160						
20	第2今年川橋	竹鶴今年川線	1967	57	3.5	4.6	RC中央床版橋	RC	R2	I	○						○				595,700	4,327,680						
21	竹鶴橋	浅川城線	1970	54	5.3	6.3	RC中央床版橋	RC	R2	II	○						○			■	●	1,235,800	8,977,920					
22	万生橋	万波生妻山線	1958	66	2.9	4.8	溝橋(BOX)	RC	R1	I						○				○	514,300	2,068,320						
23	万波橋	万波生妻山線	1962	62	5.5	3.9	RC中央床版橋	RC	R1	II						○				○	795,500	5,779,200						
24	曲川橋	安城古田線	1955	69	2.7	5.1	床版橋	RC	H30	I				○					○		510,600	5,945,040						
25	第1上之町橋	古田下西線	1963	61	5.7	4.7	RC中央床版橋	RC	R2	I	○						○				991,600	7,203,840						
26	第2上之町橋	古田下西線	1986	38	14.0	9.4	ボステン中室床版橋	RC	R3	I		○						○			4,869,200	2,684,640						
27	第3上之町橋	古田下西線	1980	44	16.2	9.4	ボステン中室床版橋	RC	R3	I		○						○			5,635,100	3,106,920						
28	古屋橋	古田住吉線	1943	81	4.0	3.6	石橋	石	R1	I						○				○	532,800	2,142,720						
29	大川橋	古田住吉線	1947	77	8.0	3.9	RCT桁橋	RC	R2	I	○						○				1,154,400	8,386,560						
30	浜之町橋	古田住吉線	1972	52	25.1	7.3	桁橋(その他)	RC	R4	II				○				■	○	●	6,778,400	3,737,280						
31	形之山橋	住吉中学校線	1978	46	3.1	5.0	溝橋(BOX)	RC	R1	II					■	○	●			○	573,500	2,306,400						
32	荒牧田橋	池野川迎線	1979	45	4.9	5.7	溝橋(BOX)	RC	R1	I						○				○	1,032,300	4,151,520						
33	安徳橋	笠泊下西校線	1993	31	9.7	6.4	RC桁橋	RC	R3	I		○						○			2,297,700	16,692,480						
34	大町橋	古田能野線	1961	63	5.8	6.6	RC中央床版橋	RC	R1	II						○		■	●		○	1,417,100	10,295,040					
35	西渡橋	川氏武部線	1962	62	14.1	4.4	RCT桁橋	RC	—	III	●			○					○		7,500,000	26,709,600						
36	野間殿橋	立山十六番線	1959	65	8.4	4.6	RCT桁橋	RC	R4	II			○					■	○	●	1,428,200	10,375,680						
37	尻之川橋	村之町線	1958	66	5.5	4.1	RC中央床版橋	RC	R1	I						○				○	836,200	6,074,880						
38	榕城橋	榕城線	2003	21	39.5	7.2	ボステンT桁橋	RC	R3	I		○						○			8,000,000	5,801,760						
39	第2桃園橋	榕城線	1968	56	5.6	6.0	溝橋(BOX)	RC	R2	II	○						○	■		●	1,243,200	4,999,680						
40	岳之田橋	竹鶴岳之田線	2007	17	24.8	5.2	プレテンT桁橋	RC	R2	I	○						○				4,773,000	2,631,600						
41	第2岳之田橋	竹鶴岳之田線	1971	53	5.0	5.0	RC中央床版橋	RC	R2	I	○						○				925,000	6,720,000						
42	小長野橋	小長野線	2011	13	18.9	6.2	プレテン中室床版橋	RC	R2	I	○						○				4,336,400	2,390,880						
43	近政橋	近政線	2001	23	23.0	5.2	プレテン床版橋	RC	R3	I		○									4,425,200	2,439,840						
44	第1二本松橋	立山古田線	1983	41	5.0	6.3	RC中央床版橋	RC	R1	I						○				○	1,165,500	8,467,200						
45	鍋割橋	立山古田線	1966	58	6.1	4.8	RC中央床版橋	RC	R2	I	○						○				1,084,100	7,875,840						
46	高浜橋	鶴女町1号線	1974	50	54.0	4.8	鉄桁橋	RC	R4	IV	●	●	●	○	●				○		9,250,000	50,000,000						
47	中代橋	田之脇石堂線	1976	48	15.6	7.3	プレテンT桁橋	RC	R4	II			○						○	■	●	4,214,300	5,057,160					
48	川氏橋	田之脇石堂線	1977	47	15.6	7.5	プレテンT桁橋	RC	R3	I		○						○			4,329,000	2,386,800						
49	浦田橋	浦田線	1978	46	4.8	4.1	RC中央床版橋	RC	R1	II						○				■	○	728,900	5,295,360					
50	中ノ川橋	浦田線	2009	15	3.5	6.6	溝橋(BOX)	RC	R1	I						○				○	854,700	3,437,280						

整理 番号	橋梁名	路線	架設 年度	供用 年数	橋長 (m)	総幅 員 (m)	上部工構造		点検記録			点検計画：○ 補修設計計画：■																対策費用	
							構造形式	使用 材料	点検実施 年度	判定 区分	対策工事計画：● 撤去・移管：▲																補修 設計費 (円)	補修 工事費 (円)	
											R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16									
51	御田橋	古田発電所線	1982	42	8.5	5.5	プレテン床版橋	RC	R3	Ⅱ		○				■	○●					1,731,600	954,720						
52	上之原跨道橋	城上之原線	1982	42	28.0	9.8	ラーメン橋	RC	R5	Ⅱ			○					○			8,000,000	50,000,000							
53	第1川脇橋	川脇長山線	1977	47	4.6	5.4	RC中実床版橋	RC	R2	I	○					○					917,600	6,666,240							
54	安成橋	川脇長山線	1999	25	40.0	5.2	ボス TENT 桁橋	RC	R3	I		○					○				7,696,000	4,243,200							
55	第2川脇橋	川脇長山線	1977	47	4.4	6.1	RC中実床版橋	RC	R2	Ⅱ	○					○	■		●		991,600	7,203,840							
56	浜脇橋	浜脇木折坂線	1977	47		5.3	RC中実床版橋	RC	R3	Ⅱ		○				○	■		●		884,300	6,424,320							
57	大中田橋	柳原湊線	1989	35	18.7	5.7	プレテン T 桁橋	RC	R3	I		○					○				3,944,200	2,174,640							
58	上之古田橋	野木平上之古田線	2009	15	3.5	5.0	溝橋 (BOX)	RC	R1	Ⅱ					○			■		○●	647,500	2,604,000							
59	下之平橋	国上西之表線	1984	40	20.0	8.2	ボス TENT 中実床版橋	RC	R4	I			○					○			6,068,000	3,345,600							
60	葛松橋	国上西之表線	1984	40	20.0	8.2	ボス TENT 中実床版橋	RC	R4	I			○					○			6,068,000	3,345,600							
61	湊橋	柳原湊線	1988	36	5.0	5.3	RC床版橋	RC	R3	I		○					○				980,500	7,123,200							
62	驒橋	甲女川線	1977	47	56.9	9.3	箱桁橋	RC	R4	Ⅲ			○					○			8,000,000	50,000,000							
63	小池橋	深川 2 号線	1953	71	8.6	4.2	RCT 桁橋	RC	R1	I				○					○		1,335,700	15,551,880							
64	大川田橋	大川田橋線	1962	62	13.2	7.2	RCT 桁橋	RC	R4	I			○					○			3,515,000	25,536,000							
65	西京橋	西京橋線	1941	83	32.4	3.9	RCT 桁橋	RC	—	Ⅲ						▲	▲				撤去費用≒	56,925,000							
66	第3川脇橋	川脇線	1968	56	4.5	3.6	RCT 桁橋	RC	R2	I	○						○				599,400	4,354,560							
67	西小太郎橋	川氏武部線	1955	69	5.5	4.3	RC中実床版橋	RC	R2	I	○						○				876,900	6,370,560							
68	川脇橋	大野川脇線	1979	45	43.5	10.0	ボス TENT T 桁橋	RC	R4	Ⅲ	●	●	○●	●				○			8,000,000	93,572,400							
69	満徳川橋	石堂柵之峯線	2018	6	11.9	8.2	プレテン中実床版橋	RC	R4	I			○					○			3,611,200	1,991,040							
70	大田橋	村之町線	2017	7	24.6	5.2	ボス TENT 中実床版橋	RC	R4	I			○					○			4,732,300	2,609,160							
71	古田住古溝橋	古田住古線	不明	—	2.5	3.3	溝橋 (BOX)	RC	R3	Ⅱ		○			■		●	○			307,100	1,254,960							
72	湊の小川溝橋	奥湊線	不明	—	6.6	6.2	床版橋	RC	R3	I		○						○			1,513,300	10,993,920							
73	田之脇石堂溝橋	田之脇石堂線	不明	—	3.1	10.1	溝橋 (BOX)	RC	R3	Ⅱ		○				○	■	●			1,158,100	4,657,440							
74	十六番万波溝橋	十六番万波線	不明	—	2.9	5.8	溝橋 (BOX)	RC	R3	I		○					○				621,600	2,499,840							
75	大崎上之古田溝橋1	大崎上之古田線	不明	—	2.3	6.1	溝橋 (BOX)	RC	R3	Ⅱ		○					■	○●			518,000	2,083,200							
76	池野川迎溝橋	池野川迎線	不明	—	2.9	6.8	溝橋 (BOX)	RC	R3	I		○					○				728,900	2,931,360							
77	岩迫溝橋	岩迫線	不明	—	4.0	5.6	溝橋 (BOX)	RC	R3	I		○					○				828,800	3,333,120							
78	岳之田 3 号溝橋	岳之田 3 号線	不明	—	3.0	6.0	中実床版橋	RC	R3	Ⅱ		○					○		■	●	666,000	4,838,400							
79	風本溝橋	風本神社下之町線	不明	—	2.4	5.6	溝橋 (BOX)	RC	R3	I		○					○				495,800	1,993,920							
80	桃園実高溝橋	桃園実高線	不明	—	2.0	15.0	溝橋 (BOX)	RC	R3	I		○					○				1,110,000	4,464,000							
81	本立溝橋	本立線	不明	—	2.4	5.4	溝橋 (BOX)	RC	R3	Ⅲ		○			■	●		○			481,000	1,965,600							
82	庄司浦溝橋1	庄司浦線	不明	—	3.0	5.3	溝橋 (BOX)	RC	R3	I		○						○			588,300	2,365,920							
83	庄司浦溝橋2	庄司浦線	不明	—	3.0	6.0	溝橋 (BOX)	RC	R3	I		○						○			666,000	2,678,400							
84	東町 5 号橋	東町 5 号線	不明	—	2.8	4.9	RC中実床版橋	RC	R2	Ⅲ	○					●	○				506,900	5,901,960							
85	能野 1 号溝橋	能野 1 号線	不明	—	3.9	7.7	溝橋 (BOX)	RC	R3	I		○					○				1,110,000	4,464,000							
86	大崎上之古田溝橋2	大崎上之古田線	不明	—	2.4	4.7	溝橋 (BOX)	RC	R3	Ⅲ		○			■		●	○			418,100	1,708,560							
87	浦田御崎溝橋	浦田御崎線	不明	—	2.4	6.0	溝橋 (BOX)	RC	R3	I		○					○				532,800	2,142,720							
88	雁田下石寺溝橋	雁田下石寺線	不明	—	6.0	6.9	溝橋 (BOX)	RC	R4	I			○					○			1,531,800	6,160,320							
89	柳原湊溝橋	柳原湊線	不明	—	2.6	7.0	RC中実床版橋	RC	R4	Ⅱ			○				■	●	○		673,400	4,892,160							
90	平松岳之田 2 号溝橋	平松岳之田 2 号線	不明	—	2.8	8.7	溝橋 (BOX)	RC	R4	Ⅱ			○					■	○●		902,800	3,630,720							